

## 第 30 回和漢医薬学総合研究所特別セミナー —和漢薬とインフォマティクス—

主催：富山大学和漢医薬学総合研究所

後援：知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）広域化プログラム

日時：10月9日（金）

会場：富山県民会館 304 号室



第30回 和漢医薬学総合研究所特別セミナー

# 和漢薬とインフォマティクス

## Wakanyaku and Informatics

2009 年  
10月9日(金)  
9:00~17:30

富山県民会館  
304号室  
〒930-0000 富山県富山市新蔵島 4-10

主催：国立大学法人 富山大学 和漢医薬学総合研究所  
後援：知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）広域化プログラム  
【事務局】国立大学法人 富山大学 研究振興部 研究協力グループ  
〒930-0194 富山県富山市 2530  
TEL 076-434-7684  
http://www.rpm.u-toyama.ac.jp/tokusan/tokusan2009.html  
世話人：小松かつ子（生薬資源科学分野）

**プログラム**

9:00-9:10	開会の辞
9:10-9:55	和漢薬の知識流通を促すウェブ基盤の構築 有田正規（東京大学大学院情報学環・情報科学研究所）
9:55-10:40	生物種 — 代謝物関係データベース KNAPSAcK : 世界の有用植物の体系的解析に向けて 金谷重彦（奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科）
10:40-11:25	和漢薬データベースの構築とその応用 田中 謙（富山大学和漢医薬学総合研究所）
11:25-13:00	（ 昼 食 ）
13:00-13:45	Kampo-Kinome 解析に基づく和漢薬の生物活性情報 櫻井宏明（富山大学和漢医薬学総合研究所）
13:45-14:30	メタボリックフィンガープリンティングの 生薬・食品研究への応用 福崎英一郎（大阪大学大学院工学研究科）
14:30-15:15	機能性食品研究の新しい方法論 — ニュートリゲノミクス 阿部啓子（東京大学大学院農学系科学研究科）
15:15-15:30	（ 休 憩 ）
15:30-16:15	薬用植物カンゾウのグリチルリチン生合成酵素 遺伝子の探索 關 光（横浜国立大学薬学研究所）
16:15-17:00	和漢薬評価のための統計解析法の最新の動向 川瀬雅也（奈良バイオ大学）
17:00-17:20	総合討論
17:20-17:30	閉会の辞



第30回 和漢医薬学総合研究所特別セミナー

# 和漢薬とインフォマティクス

2009年10月9日(金)

時間	議題	演者
9:00 ~ 9:10	開会の辞	門田重利 和漢医薬学総合研究所 所長
9:10 ~ 9:55	1 和漢薬の知識流通を促すウェブ基盤の構築	有田正規 東京大学大学院情報学環・情報科学研究所
9:55 ~ 10:40	2 生物種 — 代謝物関係データベース KNAPSAcK : 世界の有用植物の体系的解析に向けて	金谷重彦 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科
10:40 ~ 11:25	3 和漢薬データベースの構築とその応用	田中 謙 富山大学和漢医薬学総合研究所
11:25 ~ 13:00	昼 食	
13:00 ~ 13:45	4 Kampo-Kinome 解析に基づく和漢薬の 生物活性情報	櫻井宏明 富山大学和漢医薬学総合研究所
13:45 ~ 14:30	5 メタボリックフィンガープリンティングの生薬・ 食品研究への応用	福崎英一郎 大阪大学大学院工学研究科
14:30 ~ 15:15	6 機能性食品研究の新しい方法論 — ニュートリゲノミクス	阿部啓子 東京大学大学院農学系科学研究科
15:15 ~ 15:30	休 憩	
15:30 ~ 16:15	7 薬用植物カンゾウのグリチルリチン生合成酵素 遺伝子の探索	關 光 横浜国立大学薬学研究所
16:15 ~ 17:00	8 和漢薬評価のための統計解析法の最新の動向	川瀬雅也 奈良バイオ大学
17:00 ~ 17:20	総合討論	
17:20 ~ 17:30	閉会の辞	

**連絡先** 国立大学法人 富山大学 研究振興部 研究協力グループ  
〒930-0194 富山県富山市 2530 TEL 076-434-7684  
URL: <http://www.rpm.u-toyama.ac.jp/tokusan/tokusan2009.html>  
世話人：小松かつ子（生薬資源科学分野）

**参加無料** 参加ご希望の方は、最寄会場にて受付いたします。  
●なお、会場内での撮影はご遠慮ください。

(会場地図) 富山県民会館 304号室

概略:和漢医薬学総合研究所では現在、和漢薬の遺伝子・成分・生物活性情報を収載した「和漢薬データベース」の構築を行っている。そこで、第 30 回和漢医薬学総合研究所特別セミナーでは、和漢医薬学への情報科学の応用方法を探るため、「和漢薬とインフォマティクス」をテーマにして、8名の先生方に、専門分野からの提言を含めて講演いただいた（世話人:小松かつ子）。和漢薬の知識流通を促すためにはウェブ基盤の構築が必要であることが説明され（有田正規）、また世界の有用植物の体系的解析に向けたデータベース KNAPSAcK の紹介があった（金谷重彦）。続いて当研究所から、和漢薬データベースに関連して、成分・活性の融合研究と化合物情報の Wiki による登録についての紹介があり（田中 謙）、また、Kinome 解析等を用いた和漢薬の生物活性の網羅的解析結果が報告された（櫻井宏明）。次に、和漢薬研究の実践に即した内容として、メタボリックフィンガープリンティングの応用（福崎英一郎）及び和漢薬評価のための統計解析法（川瀬雅也）が紹介された。さらに、最近のトピックスである、ニュートリゲノミクスの研究（阿部啓子）やカンゾウのグリチルリチン生合成酵素遺伝子の探索研究（關 光）の成果が発表され、熱の籠った討論が行われた。全体を通じて示唆に富んだ充実した内容であり、大変勉強になった。会場には富山県内外の医薬品・食品企業または研究機関の研究者などが参集し、参加者は総勢 100 人以上を数えた。（文中敬称略；文責：小松かつ子）。

## プログラム

9:00-9:10

開会の辞

門田重利（富山大学和漢医薬学総合研究所 所長）

9:10-9:55

和漢薬の知識流通を促すウェブ基盤の構築

有田正規（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

9:55-10:40

生物種一代謝物関係データベース KNApSAcK：世界の有用植物の悉皆的解析に向けて

金谷重彦（奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科）

10:40-11:25

和漢薬データベースの構築とその応用

田中 謙（富山大学和漢医薬学総合研究所）

13:00-13:45

Kampo-Kinome 解析に基づく和漢薬の生物活性情報

櫻井宏明（富山大学和漢医薬学総合研究所）

13:45-14:30

メタボリックフィンガープリンティングの生薬・食品研究への応用

福崎英一郎（大阪大学大学院工学研究科）

14:30-15:15

機能性食品研究の新しい方法論 ― ニュートリゲノミクス

阿部啓子（東京大学大学院農学生命科学研究科）

15:30-16:15

薬用植物カンゾウのグリチルリチン生合成酵素遺伝子の探索

關 光（横浜市立大学木原生物学研究所）

16:15-17:00

和漢薬評価のための統計解析法の最新の動向

川瀬雅也（長浜バイオ大学）

17:00-17:20

総合討論

17:20-17:30

閉会の辞